

高岡ロータリークラブ

会長／牧野 明 幹事／坪田 伊歩

**UNITE
FOR
GOOD**

2026/1/15

No.26

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 安田 会場監督 点 鐘 牧野 会長
国歌斉唱ロータリーの目的／四つのテスト
ゲスト

- 株式会社トライ・プリント代表取締役社長 齋藤隆俊様
- 米山奨学生 マリク、アイシャさん

会長報告

■誕生祝

多田誠一郎 さん (1/ 1・79 才)
 若野 恒彦 さん (1/ 2・79 才)
 奈良 康功 さん (1/4・64 才)
 小間 茂雄 さん (1/ 6・76 才)
 林 成興 さん (1/ 8・50 才)
 四津谷道宏 さん (1/12・57 才)
 山下 清胤 さん (1/18・72 才)
 木村 祥子 さん (1/19)
 藤田 益一 さん (1/21 77 才)

■皆出席表彰

小間 茂雄さん (39 年)
 鞍野 誠 さん (18 年)
 竹中 伸行さん (15 年)

■米山功労者 メジャードナー記念品の贈呈

■米山奨学生 アイシャさんに奨学金のお渡し

…一言挨拶

幹事報告

■理事会⇒例会後（桐の間）

委員会報告

■SAA…テーブルマスター選任依頼

< ニコニコBOX 19 件 56,000 円 >

牧野会長／本日は株式会社トライ・プリント代表取締役社長 齋藤隆俊様をお迎えしています。卓話よろしくお願いします。

中野副会長／米山マリク・アイシャさん、ようこそ。本年もよろしくお願いします。本日の卓話、齋藤隆俊様よろしくお願いします。本日、たくさんの誕生日おめでとうございます。

坪田幹事／齋藤様、ようこそ高岡ロータリークラブへ。

先週、親睦委員会の皆様、お疲れ様でした。

山本毅筆頭理事／アメリカによるベネズエラ マドゥーロ大統領の拉致、イランの民主化暴動の弾圧による数千人の死亡者など世界は激動しています。高市

総理は、3 月の訪米を控えて、総選挙を実施して足元を固め、我が国の外交と内政を強力に押し進めたいと考えたのだと思います。早退のお詫び

中村君／齋藤社長、ようこそ高岡ロータリーへ！中村豊会長とは、富士山はじめ、よく一緒に山に登らせていただきました。本日、卓話楽しみにしています。

小間君／「誕生日祝い」並びに「皆出席」表彰をいただき、ありがとうございます。そのお返しに、本日のコーヒーとして、加賀前田家 19 代当主が社長の「イノダ」のコーヒーを味わっていただきます。瓶入りではなく、テトラパック方式です。珍しく高岡で売っているのを見つけましたので、本日お披露目させていただきます。味や香り等は深く考えずに、口の中で転がしながらお召し上がりください。皆様のお口に合うのか解かりませんが、話題の 1 つとして味わってくだされば幸いです。1 杯では分らないとおっしゃる方で販売箇所が気になるようでしたら私か馬淵さんにお尋ねください。

松原君／新年の初顔合わせ、本年もよろしくお願いします。

若野君／誕生日お祝い、ありがとうございます！

藤田君／誕生日祝いをいただきました。感謝申し上げます。

多田会員／やっと元旦で 79 才になりました。もう少しお手伝いをしたいな～と思っています。今年もよろしくお願いします。

山下君／誕生日祝いありがとうございます。

四津谷君／誕生日祝いありがとうございます。11/12 で 57 歳となりました。正月は冥途の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし by 一休

奈良君／誕生日お祝いいいただきまして、ありがとうございます。

木村君／お誕生日お祝いありがとうございます。トライ・プリント齋藤さん卓話楽しみにしています。

鞍野君／皆出席表彰いただきありがとうございます。

竹中君／皆出席祝い、ありがとうございます。

福田君／早退させていただきます。

勝山君／本日、早退させていただきます。

中川君／明けましておめでとうございます。皆様、本年も多くのニコニコBOXよろしくお願いします。

プログラム

卓話

『 トライ・プリントの取り組み地方創生に繋がる
「地場産業開拓プロジェクト」 』
斎藤隆俊様

プリントとついているので印刷の会社になります。ただ、紙に印刷するわけではなく、立体物への特殊印刷加工を軸に塗装・組立など様々な加工を行っている会社です。当社は、空気と水以外は何にでも印刷しますというキャッチフレーズで事業を営んでおります。社員はグループ全体で70名おります。本社工場は氷見で、5拠点あります。がまかつさんの釣り竿もここで製造しております。氷見市内でトライショップ「ヒミツノアソビバ」も経営しています。幅広い加工業を営んでいる技術者集団となります。開発分野では、直近 伝統工芸品との技術コラボレーションを行い、新たな商品の開発を行っています。このような開発の取り組みによって地方創生と、小さくても強い会社づくりを目指しています。

がまかつさんとのコラボについて説明します。能登半島地震の復興・復旧に向けて地場産業を基に地方創生を後押しし「明るく元気で、希望あるまち」を更に目指すため業務提携の輪を広げる取り組みをスタートします。「釣竿といえば・氷見」更に、呉西地区に新たな産業と文化を誕生させることを目的としたプロジェクトでそのスタートとして各部品を富山や呉西地区・氷見で全てこの部品を作って地場調達したいと当社は考えています。そういったところで、地場サプライヤーさんを探していきたい。それが第一段階のプロジェクトです。企業マッチング交流会は、まさに1番最初の取り組みである各部品パーツを地元で作ってもらいたい、その業者さんを探すための企業マッチング交流会になります。2年後には第2段階として新商品を開発したい。現在、がまかつさんから図面をいただいて、一貫製造を請け負っておりメーカーの取り扱い数は700種類の竿があり、部品点数で約1万品番くらいあります。その中の竿加工の依頼を受け当社は釣り竿を一貫製造するのですが、さらにそこから富山/氷見オリジナルの新商品を開発したい。ここで大事なのは地場の伝統工芸のデザイン力や技術力。これらをフル活用して新商品を誕生・販売していきたい。釣り竿以外の商材はもちろん、アパレル・おもり・針など竿以外の製品開発にも着手していきたい。がまかつさんはカーボン素材に自信を持っている。カーボン素材を釣り竿以外の製品に役に立てられないか？カーボン素材を使用した他業種への推進展開を3段階目のステップと考えている。4段階目は、違った方向に目を向けながら、富山でがまかつさん主催の公式の釣り大会だったり、イベントを開催したいと思っています。そうすると観光客も集客できます。地元の商店さんだったり旅館民宿などの利用も増

える。地元の釣り場の整備を行っていきながら、釣り船なども地元と連携し、県外から誘客したい。竿の歴史や、地元の木材を利用して竿作り体験など教育にもつなげていきたい。空き店舗を利用しながら、釣り博物館、施設を増やしたい。最初は釣り竿を作るだけだったが、サプライヤーの輪を増やすことで、観光客や雇用も生まれる。しっかり3年後以降、10年確立させることで強い地場産業、強い観光が作り出せるのでは？ニュービジネスを北陸の地で作りあげていくことで新しい経済と文化が生まれる。未来への希望あるまちづくりを民間の力で推進していきたい。ここまで最低10年はかかるんじゃないかなと思っています。

まずは1月20日のマッチング交流会以降、継続的な交流会を考えている。広く部品加工の連携の輪をひろげる活動を行っていきたい。がまかつさんのカーボン素材、こういったものの新しい製品を生み出していきたい、環境に配慮した製品を推奨していきたい。氷見で地場産業を確立する中で県内外の釣りファンを集めて観光客を富山に呼んでいきたい。地方創生につながる例えば、ステップ5段階の最後になるが、産学官連携しながら、強い地場産業、強い観光を作りだし、富山に住みたい、子供を育てたい地域にし、さらに「未来への希望がもてるまち」にしていきたい。

それがゴールで震災の復興・復旧ではないかと考えています。

ご静聴ありがとうございました。

